

『おおいしだめとんとむがすあつたけど』②

おへどの稲荷 その二



その後、隠密たちは、おはなも殺すことにした。これに気付いたおはなは、こっそりと、白水川から最上川を下って、駒籠の延藤次左エ門さん方に来た。次左エ門さんは、今の七助さんの家だ。

次左エ門さんという人は、佐竹家の家臣だった。佐竹の殿様は、秋田に来る途中の要所要所に街道の見張り所を置いていた。情報を集め、秋田に報告する役目として、次左エ門さんが駒籠に住むことになったそうだった。

駒籠という所は、最上川の側にあるので、朝晩、舟の行き来が見られる。また、鷹巢には、羽州街道があつて、その様子も見られるということで、好都合の場所だった。

おはなは、次左エ門さんに身を寄せてから、次左エ門さんの田の近くの道路の側で、人目のつかない林の中に祠を建て、毎日朝晩通つて与次郎を供養していた。この祠は二、三尺位の小さなもので四本柱を建ててわらで作った粗末な稲荷だった。冬になると雪でつぶれてしまうので、春になると、新しいわらで作直していた。

おはなは、与次郎ひとすじに生き、嫁にも行かず、次左エ門さん方で亡くなったそうだった。けれども、隠れ人なので、墓もどこにあるのかわからない。

次左エ門さんは、堅くて心の広い人で、おはなの気持ちを大事にしていたので、おはなの亡くなった後も、延藤助次さんの代まで十七代、約四百年間も続いて、毎年春になると、新しい稲わらでお堂を造っていた。そのお堂が「おへどの稲荷」と言われた。

今、「おへどの稲荷」はなくなり、七助さんの内神として祀られている。

○出典『大石田のとんとむがす』

(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

町内で昔語り活動を行っている大石田とんとむがすの会によるお話です。

『大石田のとんとむがす』は町立図書館や町内の各小中学校図書室などに所蔵していますので、ぜひ手に取ってご覧ください。



町の人口 令和4年2月1日現在		
世帯数	2,269 戸	(-2)
総人口	6,518 人	(-16)
男	3,227 人	(-4)
女	3,291 人	(-12)
(1 月中の異動)		
出生	2 人	転入 7 人
死亡	13 人	転出 12 人

※この数字は外国人数も含めた数字です。

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

■総務課総務グループ TEL.35-2111 (内線218)

大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報などを
受け取ることができます。

**友だち登録を
お願いします!**



登録方法

右のQRコードを読み取って友だちに追加してください。



大石田町公式LINE